

平成 29 年(2017)
11 月 1 日

Guide to SuwaCity Council

目次

常任委員会報告……………	2
決算審査特別委員会報告……………	4
代表質問……………	6
一般質問……………	9
審議結果(議案、請願・陳情)……………	14
議会だよりモニター通信……………	15
議会 TOPICS……………	16

す わ 市議会だより

『過去の議会中継をインターネットで視聴できるようになりました』
詳しくは16ページ「議会TOPICS」をご覧ください。



9 月 定例市議会

平成29年9月定例会は、8月28日から9月15日まで行われました。

今定例会では、2件の報告と、同意1件、議案10件、認定7件、陳情1件、議員議案4件が審議されました。

8月28日	本会議(議案説明、請願・陳情付託)
29日	休会(自宅審査)
30日	休会(自宅審査)
31日	本会議(議案質疑・付託)

9月 4日	本会議(代表質問、一般質問)
5日	本会議(一般質問)
6日	本会議(一般質問)
7日	決算審査特別委員会
8日	決算審査特別委員会
11日	決算審査特別委員会
12日	常任委員会
15日	本会議(委員長報告、採決)

議案審査 総務産業委員会

9月定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

委員長 増澤 義治



補正予算 1億1112万9千円の増額



◎諏訪市公営企業運営審議会条例

を定めるについて

議案の内容

本年5月に策定された「諏訪市水道事業ビジョン」に基づく水道事業の運営に関する事項のほか、温泉事業と下水道事業を含めた公営企業の円滑な運営について審議するための審議会の設置等、必要な事項を定めるための条例が新設される。

主な質疑

問 委員は10名以内とあるが、一般公募は何名か。

答 公募は2名。

問 委員構成の内訳は決まっているか。

答 上下水道や温泉を使用する旅館・工業・女性の各団体から3名、識見を有する者から3名、一般公募が2名の計8名。

採決の結果

討論はなく、全会一致可決。

◎平成29年度諏訪市一般会計補正

予算(第2号)について

議案の内容

補正額は、1億1112万9千円を追加し、総額206億4927万4千円。特定財源は2910万円。また一般財源必要額の8202万9千円は地方特例交付金、地方交付税及び繰越金で措置される。主な内容は別表のとおり。

主な質疑

問 すわ姫のラッピングバスは、ダイヤ改正に間に合うのか。

答 間に合わない。

問 三の丸橋工事の際の迂回路の対応は。

答 バスの運行ルートは現在検討中。

問 道路改良費の補正は新たな要望箇所か。

答 工事予定箇所の追加経費である。

問 貯水槽に蓋を掛けることで水路の変更はあるのか。

答 今までは水路から補給していたが、今後水道管から補給する。

討論はなく、全会一致可決。

採決の結果

項目	増減金額	補正後の金額	主な内容
総務費	増 4525万2千円	28億2175万3千円	・財政調整基金積立金 <u>4400万円</u> ・かりんちゃんバスラッピング車両作成代 <u>100万円</u> ・第24回参議院議員通常選挙において県の算定誤りによる過大交付分の返還金 25万2千円
農林水産業費	増 400万円	2億1084万5千円	・人・農地プラン事業費 <u>300万円</u> ・林道維持管理事業費 <u>100万円</u>
土木費	増 3483万3千円	27億6956万8千円	・道路改良事業費 <u>1700万円</u> ・橋梁長寿命化事業費(一般財源から地方債に振替、起債増額) <u>850万</u> ・市単河川改良事業費 <u>300万円</u> 水路改修を行うための事業費 ・柳並線道路整備事業費 <u>1483万3千円</u> 柳並線と湖周線を接続する実施設計等を行うための費用
消防費	増 160万円	6億6855万2千円	・豊田有賀にある江音寺下の貯水槽に蓋を掛けるため及び排水管修繕に係る費用 <u>160万円</u>

議案審査 社会文教委員会

9月定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

委員長 森山 博美



子どもの医療費の支給方法が変わります！



◎諏訪市福祉医療費給付金条例の一部改正について

議案の内容

0歳から中学校卒業までの子どもにかかる医療費について、医療機関の窓口でレセプト（診療報酬明細書）1枚につき、月5000円の自己負担のみで受診できるようになる現物支給方式が追加される。

主な質疑

問 市にとってどの位負担軽減があるのか。周知はどのようにするのか。

答 システム改修経費や、通院回数が増えたと経費負担は変わらない。周知は、県の医師会・歯科医師会を通じ医療機関へ、市民には、広報すわにて行う。

採決の結果

討論はなく、全会一致可決。

◎平成29年度諏訪市一般会計補正予算（第2号）



プールの天井工事と同時にトップライトの改修工事が行われる予定のすわっこランド

主な内容は別表のとおり。

議案の内容

主な質疑

問 新入学用品の支給対象者の人数、支給費用の内容は。

答 新入学対象の小学生は37名、中学生は52名。制服・体操着など基準単価が4万円程度。PTA会費などは含まれない。

問 長野学習センター開設30周年記念事業特別番組作成の委託業者や放映頻度は。

答 45分番組で、1年8回の放映を6年間行う。全国のケーブルテレビ

レビでも行う予定。地元映像会社への委託を想定している。

採決の結果

討論はなく、全会一致可決。

項目	増減金額	補正後の金額	主な内容
衛生費	増 2079万1千円	14億6651万2千円	<ul style="list-style-type: none"> 改修工事費 2032万6千円 施工監理委託料 46万5千円 すわっこランド屋内プール天井工事・トップライト（換気装置）のための費用
教育費	増 465万3千円	17億2636万円	<ul style="list-style-type: none"> 小学校費 138万3千円 中学校費 117万円 要保護・準要保護の補助対象者、小中学校入学前に新入学用品費を支給する費用 <ul style="list-style-type: none"> 社会教育費 10万円 長野銀行からの地域応援キャンペーン寄附を受け、信州風樹文庫で大型紙芝居舞台及び付属品を購入する費用 <ul style="list-style-type: none"> 作成委託料 200万円 放送大学より本部負担金収入 100万円 放送大学本部と長野学習センター開設30周年記念事業特別番組を共同制作するための費用

議案審査 決算審査特別委員会

9月定例会で付託された案件と、委員会審査の内容です。

委員長 近藤 一美

28年度決算関係議案10件を認定・可決



当委員会は会期中の9月7日、8日、11日の3日間にわたり、全委員出席のもと、副市長、会計管理者及び各部課長、局長、次長、室長、係長の出席を求め、平成28年度の決算書、成果説明書、不用額説明書等により、全部局の説明を受け、慎重に審査を行った。

決算の状況

平成28年度会計別決算状況は別表のとおり。

決算に対する主な意見

総括として平成28年度決算は、限られた予算の中で、市長が自ら主導して作成した最初の予算の決算である。「透明度日本一」のまちな輝くSUWAの実現を目指して、多岐にわたる事業が着実に実行され成果が確認でき、決算においては適正に処理をされていた。

1. 具体的な評価について

- ・ 国、県の地方交付金、補助金、助成金、またアベノミクスが目玉である地方創生交付金等に広くアンテナを張り、歳入確保に努め実績を上げていること。
- ・ 会計管理業務においてきめ細かく管理し、スポットの短期借入金ゼロで、低金利の下でも運用益を確保し、チェック機能体制の構築へ取り組み、実績を上げていること。
- ・ ふるさと納税の実績が大幅に増加し、市の財政改善に貢献した点。
- ・ 新しい形での区長懇談会は、地域の課題を直接聞く場として有効であったこと。
- ・ 限られた予算の中で、道路、河川の改修にきめ細かく取り組んだこと。

2. 改善要望、指摘事項について

- ・ 努力をして歳出を抑制し、実績を減少させた事実は認めたいうえで、不用額が一般会計で11億3000万円は多額過ぎないか。予算を立てる際、安全性を重視するため、余裕を持ち過ぎの予算になっているのではないか。一部事業では、予算化されていても全く使用しない予算もあるので、予算計上の際、より慎重さが必要であり次年度につなげていただきたい。
- ・ 産業振興関連予算は充実しているが、PR強化がより必要。
- ・ 今年70周年を迎える風樹文庫の活用、また全国に向けての情報発信の強化が必要ではないか。
- ・ 霧ヶ峰の廃屋撤去を行政の責任で実施すべきと多数の委員より指摘があった。



決算審査特別委員会の様子

- ・ 全庁的な連携により、老朽化し、空き家となっている教員住宅、市営住宅について抜本的な検討が急務である。
- ・ 靦石青少年広場の今後の方向性を検討すべきである。
- ・ 土地開発基金5億円を見直し、財政のスリム化を図るべきである。
- ・ 行政の縦割り組織を超えて柔軟な考えを取り入れ、市民第一主義の考えで連携強化を

していただきたい。

紙面の関係で全ては掲載できないが、数多くの要望・指摘事項があり、次年度に向けて、検討改善をお願いした。

採決の結果

一般会計決算、国民健康保険特別会計決算については討論があり、採決の結果、賛成多数で認定された。

他5つの特別会計は全会一致で認定であった。

水道事業会計、温泉事業会計、下水道事業会計については、全会一致で可決および認定された。

(個別の案件審議結果については14頁に記載)

どうして決算は9月に行われるの？

市役所の会計年度は4月1日から3月31日までですが、3月31日までに確定できない収入等があるため、翌年度の5月31日まで出納整理期間を設けています。期間終了後、具体的な数字が確定したところで監査を行うため、決算審査は9月に行われるのです。

《平成28年度会計別決算一覧》

(円)

会計名/区分	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出差引額 C(A-B)	翌年に繰り越すべき額 D	実質収支額 E(C-D)	
一般会計	20,868,468,578	20,113,234,576	755,234,002	18,833,000	736,401,002	
特別会計	国民健康保険	5,961,456,881	5,919,717,578	41,739,303	0	41,739,303
	霧ヶ峰リフト事業	45,584,818	45,584,818	0	0	0
	奨学資金	8,207,245	7,911,129	296,116	0	296,116
	公設地方卸売市場事業	62,113,032	53,990,977	8,122,055	0	8,122,055
	駐車場事業	18,497,882	16,624,162	1,873,720	0	1,873,720
	後期高齢者医療	649,363,648	631,870,110	17,493,538	0	17,493,538
合計	27,613,692,084	26,788,933,350	824,758,734	18,833,000	805,925,734	

《水道・温泉及び下水道事業の決算状況》

会計区分	経理区分		決算額	収支差引
水道事業会計	収益的収支(税抜)	収益	894,938,520円	【純利益】 144,446,150円
		費用	750,492,370円	
	資本的収支(税込)	収入	20,039,614円	【収入額が支出額に対し不足する額】 350,742,397円
		支出	370,782,011円	
温泉事業会計	収益的収支(税抜)	収益	432,159,955円	【純利益】 143,124,505円
		費用	289,035,450円	
	資本的収支(税込)	収入	5,498,280円	【収入額が支出額に対し不足する額】 120,121,312円
		支出	125,619,592円	
下水道事業会計	収益的収支(税抜)	収益	2,383,052,602円	【純利益】 502,292,706円
		費用	1,880,759,896円	
	資本的収支(税込)	収入	375,957,738円	【収入額が支出額に対し不足する額】 968,472,453円
		支出	1,344,430,191円	

- ※収益的収入 料金収入や引き受けた工事の利益など
- 収益的支出 人件費や物件費、減価償却費、借り入れた企業債(借金)の利息など
- 資本的収入 事業を行うために借り入れる企業債(借金)など
- 資本的支出 建設改良費や企業債の返済元金など

代表質問

各グループ(会派)が、政策上の問題などについて質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁であり、代表者の文責によるものです。

得たとの感想をいただいた。



創生すわ
水野 政利

●平成29年度予算における事業の執行について

問 29年度予算の上半期事業の執行状況と総括は。

答 8月末時点の予算の執行状況は、予算額に対し50%の執行が決定している。予算の執行率は約30%で、最大限の効果が得られるよう計画的かつ確実な執行を徹底している。

問 特に強調したい3事業は。

答 ①諏訪市地域医療・介護連携推進センターの設置。②地域のつながりと交流の推進。地域の諸課題の解決や、若者のまちづくり活動に対する支援金を交付。③リケジョ雇用応援事業。女性技術者・研究者の雇用を後押しするため、理系の女子学生が諏訪の8企業を訪問し、観光等も実施した。参加者からは、市の姿勢に共感を

問 検証を踏まえた、来年度に向けた基本方針は。

答 実施計画策定会議を開催し、平成30年度から32年度の実施計画策定を各課に依頼している。また、5年、10年、さらには50年先の諏訪市を見据えた事業の検証と見直しを行い、11月の予算編成会議に向け、来年度予算の策定方針を作成したい。

●霧ヶ峰高原強清水の廃屋の解体について

問 強清水で懸念されている、廃屋の解体実施への対応の現状は。

答 現在、霧ヶ峰の市有地に関する物件は3件で、いずれの建物も破産により土地賃借契約を解除しており、土地明け渡し合意書も締結しているが、建物所有者の不在や解体費捻出などの問題から管理がなされず放置状態。市としても霧ヶ峰の景観、観光地の安全性から廃屋が残っていることは好ま

しくないと考える。



長年の懸案事項である霧ヶ峰の廃屋

問 取り組みの課題は。

答 建物の除却は原則として所有者の義務であることから、市で解体する場合は、所有者に代わって解体工事を実施し、解体後に所有者へ費用の請求を行う必要があるが、費用回収の見込みが難しいため、最終的には全ての費用を市で負担する可能性が高いと思われる。また、霧ヶ峰の物件だけでなく、市内で廃屋が出た場合に、全て行政が除却するのかとの問題も生じる。

問 各廃屋の解体整備に要する見積り額は。

答 霧ヶ峰の3物件で試算すると、2物件が各約3千万円。1物件は、アスベスト除去が必要な場合は2億円で、合計約2億6千万円。

●諏訪市公共施設等総合管理計画について

問 本市の公共施設等の現況と将来見通しは。

答 現在の市の保有する公共施設の総量は、278施設、総床面積23万㎡。このうち、築30年を経過した施設の割合は、全体の6割以上を占め、10年後には8割以上となることが見込まれる。

計画期間は、中期に及ぶことから、今後40年を見通し、平成29年度から平成38年度までの10年間とする。

問 基本的な取り組み方針は。

答 建築物系施設として3つの基本方針と、インフラ系施設として2つの基本方針がある。





未来のすわ
吉澤 美樹郎

●これからのまちの姿は

問 都市計画マスタープラン・立地適正化計画に関するアンケート調査、また市民ワークショップが行われているが、どのような意見が出されたか。

答 重要な施策として、災害に強い安全な街、子育てしやすい街、空き屋対策、公共交通の充実、道路・歩道の整備等への要望が多い。また若い世代からは子育てにかかる経済的負担や小中学校のクラス減少を懸念する声も多く聞かれた。市民ワークショップは、地域の特徴を捉えるために行ったが、上諏訪地区では交通安全対策や地域の担い手への懸念、豊田・湖南地区では農地の保全や空き屋対策、四賀・中洲地区では諏訪大社を活かした地域づくりや既存商業地域の活性化など地域色のある意見をいただいた。

問 集められた意見を分析しマスタープラン等の策定を進めると思

うが、今後のスケジュールで市民への周知、理解促進にはどう取り組むのか。

答 今後は都市計画マスタープラン改定委員会を中心に改定案を作成していく。住民説明会、パブリックコメントを行い市民の意見を反映しながら平成30年度の策定を目指したい。

要望 将来の街の姿を描くには市民の理解が不可欠、丁寧な説明を重ねプランを策定していただきたい。

●いま地域の抱える課題は

問 地域の問題解決のために区長懇談会を開催しているが、どういった課題が挙がっているのか。

答 防災面では避難場所の立地、防災資機材等の整備について、区の運営に関しては未加入者対策、役員のなり手不足について。区単独では、運営が困難で統合再編の必要性を感じる等の意見が挙がった。

問 課題に対して市ではどのような対応を取るのか。

答 地区同士の連携による、防災

資機材や備蓄品の共同購入、地区への加入促進、地区の垣根を越えた行事の運営等、課題の解決に向け関係課で連携し、積極的に支援していけるよう取り組む。

●駅周辺のこれからは

問 柳並線の延伸整備計画が公表され、駅と湖畔を結ぶ人や車の流れが大きく変化すると思われる。駅西口の利用増加に伴い地域の活性化も期待されるが、周辺整備の考えは。

答 延伸整備を契機に駅西口は交通結節点としての役割が増してくと考える。今後は周辺の整備についても検討して行きたい。



活性化が期待される駅西口



日本共産党
諏訪市議員団
井上 登

●子ども医療費窓口無料化

問 国の政策変更を受け、長野県が、中学卒業まで医療費窓口無料の範囲を広げたのは、多くの皆さんの20数年来の運動の画期的成果だが、市長の評価は。

答 受給者の利便性が向上し、子育て世代に大きな支援になると考え、市においても導入を決定した。

問 医師会などが県に1レセプト500円の受給者負担をなくす完全無料化を要望しているが対応は。

答 完全無料化は6千万円の財政負担がある。対象範囲を広げると国からの交付金が減らされてしまう。必要な経費として理解をお願いしたい。

問 今回の制度改正に障がい者も適用すべきでは。

答 市単独実施ではなく、県との協働施策として県内一斉施策が望



今年度新たに設置した中洲保育園のエアコン

ましいと考える。

問 県下62%（48市町村）が、18歳まで助成しているが、諏訪市の意向は。

答 義務教育終了までが妥当と考えている。

●保育園、学校の空調導入

問 気候変動に対する子どもへの熱中症や健康面への配慮は。

答 今後も35度以上の猛暑日が増えるものと考えられる。学校では、水筒持参を認め、水分補給を呼びかけている。また扇風機を配備し、中学校においては授業中の

半そで、ハーフパンツの着用も可としている。保育園では、未満児室の温度管理のため、全園の未満児室にエアコンを設置した。

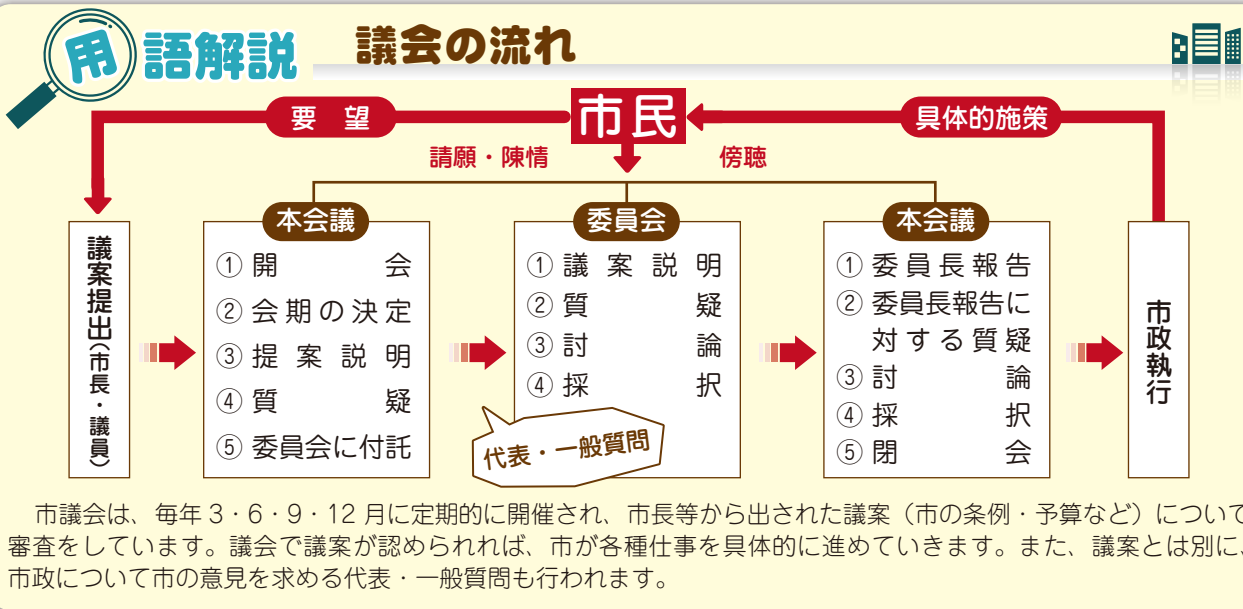
問 全国及び県下の空調の設置状況は。

答 普通教室が全国で49%、長野県3.7%、諏訪0%。保育園では、3歳未満児室や、調理室へ設置している市が9割近く占めている。今後健康面への配慮、給食の安全性など考慮したうえでエアコン設置について検討していく。

●小規模業者について

問 店舗リフォーム補助の状況は。

答 8月末現在で3件の申請。100万円以下のリフォームや自己資金不足により工費を調達できない方には「店舗設備近代化資金」の改正を昨年度行い、利率を0.5%引き下げ、また全額3年間利子補給を行うという有利な制度を紹介しながら、金融機関と連携し事業者にとってより良い方法を案内している。



●議員議案● 4件の意見書を関係行政庁に提出しました

- 「全国森林環境税」の創設に関する意見書
長野県では「長野県森林づくり県民税」（通称：森林税）が導入されているが、国においても森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」を早期に導入することを強く求めるもの。
- 道路整備事業に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書
道路財特法の補助率等の嵩上げ措置について、平成30年以降も継続するよう強く要請するもの。
- 国に対する私立高校への公費助成に関する意見書
- 長野県に対する私立高校への公費助成に関する意見書
経済的理由で子どもの夢をあきらめさせることのないよう、私立高校への就学支援金制度の拡充並びに経常費補助の増額を求めるもの。

一般質問



小松 孝一郎

●上諏訪駅を中心とする市街地の整備計画について

問 駅東口の駅前開発商業棟、公共スペースワークショップ（WS）の進捗状況、市の対応は。

答 商業棟は8月建築確認申請を提出、11月工事着手。WSは4回終了。次回WSと市でスペース活用の留意点や制約について認識合わせを行う予定。12月に提案を受け業者と協議交渉を行い、市の体制を検討する。

問 柳並線が延伸すると、国道20号から諏訪辰野線・湖周線・柳並線を経由して駅西口に至るルートが平成32年に完成する。災害時に大型緊急車両も駅周辺に入れる。このルートの位置づけと周辺整備は。

答 諏訪辰野線は市の玄関道路のひとつ。柳並線もシンボルロード、幹線ルートと位置付ける。西口交通広場の利用形態も大きく変わる。駅西側整備は必要。

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。

問 駅東西で開発が進むと東口と西口を結ぶ駅舎の形態が重要になる。駅舎の検討状況は。

答 JRと情報交換、商工観光関係者と意見交換を行った。橋上化と連続立体交差の両論があり、方向を決め切れていない。協議を継続して市の考えをまとめる必要がある。

問 平成10年に都市計画マスタープラン、1年後に上諏訪駅周辺整備計画が策定された。調和のとれた事業推進には、諏訪湖、駅周辺、旧市街地を包括的に考えた整備計画が必要。都市計画マスタープラン



駅周辺整備計画 (86 ページ)

ンの見直しと併せ、市街地整備計画を策定する考えは。

答 計画を策定する考えはない。状況を見ながら各種事業を進めていきたい。

要望 これだけの事業を個別にやったのでは調和のとれたまちづくりは困難。将来を見据えた計画が必要である。交付金や補助金も受けやすくなる。平成30年度の都市計画マスタープランの見直しと併せ、市街地整備計画の策定を要望する。



牛山 智明

●LGBT（性的少数者）について

問 ※パートナーシップ制度について、日本では同性カップルの婚姻は合法化されていない。しかし、夫婦の様に婚姻関係を認めてもらいたいと願うカップルは人口の8%、本市では計算上四千人と推計される。現在渋谷区をはじめ6自治体で導入されているが、制度導入の考えは。

答 現在要望、相談等がないため同制度導入の考えはない。
※法的な効力はないが、同性のカップルについてその関係を認める制度。

●松くい虫について

問 全国の被害状況は減少傾向にあるが、長野県では松本、上小、長野地域と毎年上昇、高標高地域に拡大している。諏訪地域近隣では、塩尻、上伊那、北社市で被害が発生している。今のところ諏訪圏域での発生はみられないが、対策として空中散布を実施する考えは。

答 伐倒などで拡大が防げない状況になった場合、空中散布も有効な手段のひとつとして考えている。



松くい虫の対策を！

問 ドローン活用による監視体制の考えは。

答 人が行きにくい尾根筋の監視ができるなど有効性もいくつか期待できる。県でもドローン監視体制を現在検討中。技術的に実用段階になれば、本市もドローンによる監視体制の導入を検討したい。

●諏訪湖のマイクロプラスチックについて

問 今年3月NHK関西放送で、京都大学研究グループが、琵琶湖に生息するワカサギ31匹を調査、9匹の体内から平均1.1個のマイクロプラスチックを検出したとの報道があった。国内では、湖からの検出は初めてとのこと。諏訪湖の水質、ワカサギ魚介類、堆積土砂のマイクロプラスチック含有量は、**答** 県では調査をしていないため、現状では不明である。



森山 博美

少子高齢化は、経済が右肩下がり時代の、税収が減る一方、福

祉や医療にお金がかかる。「入るを量り、出ざるを制す」工夫の提案も含め、諏訪市の職員研修や、秦野市への議員派遣研修などで諏訪市で取り入れていって欲しいものを質問した。

●公共施設の利用拡大について

問 諏訪市公共施設等総合管理計画について、「建物系を今後10年間で10%以上縮減」の目標数値の見直しや、施設の有効活用を加速化し取り組む考えは。

答 公共施設マネジメントの推進は、今後のまちづくりのあり方にもつながる。市民への情報提供と意見交換を踏まえ、次世代の負担を残さないように持続可能なまちづくりを目指していきたい。

問 ふれあいの家・働く婦人の家・勤労青少年ホームについて、利用者制限の枠を外しての有効利用は可能か。

答 ふれあいの家は、移転から1年も経たないためこのままの状態でも運営していくが、利用者のニーズや子どもを取り巻く環境等を考慮し、柔軟な発想で検討していく。婦人の家・勤労ホームは、福利厚生対策、労働対策の趣旨は薄れ、主に社会教育施設として利用



働く婦人の家

されている。施設の集約化や再編と効率的な運営推進のため、社会教育施設へ転換する検討を進め、市公民館別館に利用形態変更も考えている。

●ドネーションボックスの設置を

問 諏訪湖・霧ヶ峰・史跡・各公園・トイレなどへ「ドネーションボックス（寄付箱）」を設置し、維持管理費を利用者や観光客の善意をお願いするのも良いのでは。

答 ドネーションボックスの設置は、気軽に寄付をいただける方法として有益だと思われる。増収を図る一つの方法として参考にした



増澤 義治

●諏訪市内の水路の危険防止フェンスの状況について

問 今後の用水路の周辺整備はどのように考えているか。



西大汐の様子

答 水路維持管理上支障がないよう軽量で着脱可能な蓋も製品化されてきているので、今後検討していきたい。

問 国道20号線から綿半にかけての県道諏訪辰野線は、道路幅が広く交通量も多いが、街灯が無く、夜、非常に危険に感じるが。

答 道路照明の設置は諏訪建設事務所の管轄。大きな交差点や急なカーブ地点に限り設置しており、農作物への影響も考えられることから、この部分への道路照明の設置の考えはないとのこと。

問 飼い主のいない猫対策につい

て、3月議会で質問をしたが、その後の展開は。鳥獣駆除ではなく対策として犬猫のことができないか。

答 去勢避妊手術に対する補助金の増額を検討している。犬猫は動物愛護法が適用されるため、鳥獣として対応することは困難。

● 諏訪の裁判所から上諏訪中にかけての道路について

問 高島小学校、上諏訪中学校ともに広域避難所だが、大型消防車が入れない。周辺の道路整備の状況は。

答 道路が狭く通行困難な箇所もある。近隣住民の協力が得られたら、道路の拡幅など考えていく。

問 旧図書館の美術館収蔵品倉庫や手長神社の石段の上部右側にある手長丘資料収蔵室を、公共施設の管理計画の中で壊す予定は。

答 博物館において、収蔵スペースの更なる効率的な使用を検討し、再度両施設の方針も考えていく。

● 高島城のお堀の清掃について

問 取水量を増やせば、水がきれ

いになるのでは。

答 水の滞留時間が短くなれば水質悪化は軽減できると思われる。今後研究していく。



近藤 一美

● 立石公園大型滑り台の事故について

問 なぜ3回も同じ事故が起きたのか。

答 いずれの事故も雨で滑り台が濡れている状態で起きている。雨が降っているときは使用禁止の大型の看板を設置して注意を促しているが、無視して滑り台を使用したことが原因。



立石公園大型すべり台、現在は使用中止となっています

問 人気の大型遊具なので、来春までに安全性を確保の上再開すべきでは。

答 市民の多くの方は存続させてほしいと願っていると思う。再開の方向で検討したい。

要望 アンケート等、市民の意見を聞く機会を設けていただきたい。

● 霧ヶ峰リフト事業について

問 今期の経営計画については。

答 今期は、スノーマシーンを2台増設したことにより、雪不足でも対応できる予定。昨年の使用料収入は1080万円だったが、今年度は100万円アップさせたい。将来的には1500万円を目指している。

問 キッズパーク開設の目的と集客目標は。

答 ファミリー客の増加を目的とし、今期は650人、利用金額32万円を見込んでいます。

要望 諏訪市民に特典を付け、積極的にPRをしていただきたい。

● すわっこランド利用料について

問 トレーニングルームの利用料に受益者負担の考えを導入する件の進捗状況は。

答 開設して11年目の施設で、運動器具の修理や、更新の費用に充てるため、来年度導入を目指して検討中である。

問 利用者の声として、耐用年数を過ぎていたためか故障中の運動器具が多いが、対策は。

答 6月議会で補正予算が認められたので、入札手続きを経て発注し、ランニングマシン2台、バイク1台が9月7日に納品され、現在使用されている。

要望 最新式のマシンなので各種機能が揃っているため、使いこなせない状況。説明文を張り出す等丁寧な説明を望む。



山田 一治

● 柳並線延長事業の早期着手と工事計画について

問 柳並線延長事業について、周辺地域の住民や商工会議所（経済

団体、地区商業会）への説明はされたか。

答 地域住民への説明はした。商業・観光関係者には計画が整ったところで説明会を開催する。

問 柳並線周辺、駅西口整備について、「駅周辺市街地あり方検討会」との関連は。

答 柳並線の延長事業を契機に駅周辺全体のまちづくりの気運が高まると考えており、検討会において十分に意見を聞き、事業計画を立てて進めていきたい。

●市内公園（29か所）の管理と整備の徹底を

問 市内公園の管理と整備については。

答 臨時職員を雇用し、各公園管理（清掃）・整備（施設点検）などを行っている。

要望 各地域の皆様、各種団体の協力要請をしてはどうか。

●長野国体（2027年）開催について

問 2027年の長野国体が内々定していると思うが、市内での競技受け入れについては。

答 国、県から正式な決定通知が来れば、各競技団体と協議していきたい。

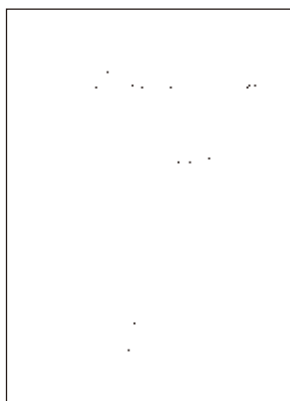


小林 佐敏

●「都市計画マスタープランの改定」アンケートは！

問 都市計画マスタープラン改定に合わせ、人口減少社会でも継続的に諏訪市が発展するための方策について、昨年と今年のアンケート調査結果の違いは。

答 昨年の調査では店舗、病院、公共施設を「徒歩や公共交通で移動できる範囲に集める」。今年の調査では、「税負担の増加による現状の維持」や「多少の税負担があってもインフラ整備を望む」の比率が高くなった。



アンケート調査結果報告書

問 計画策定に向け、調査結果の総括と今後の方向は。

答 20年前は都市基盤やインフラ整備を求める声が多かったが、今回の調査では高齢化が進み、公共交通の充実など「暮らしやすさ」の向上を求める声が増加。この傾向を受け止め計画の策定を検討。

●住宅・建築物耐震改修促進事業は進んでいるの！

問 住宅・建築物耐震改修促進事業・補助事業の現況と今後の進め方は。

答 住宅耐震診断は平成27年度61件、平成28年度44件、今年度は8月末で32件。耐震改修補助事業は平成27・28年度4件で、内容は耐震補強工事、現地建て替えなど。本年度は8月末で6件の申し込み、他に3件の相談を受けた。昨年度に比べ申請件数が伸びた背景は、補助限度額の100万円への引上げが影響していると思われる。今後は上限引上げ効果を見きわめ、二の足を踏んでいる方々へのローラー作戦や広報活動も検討しながら事業促進に努める。

●「健康寿命を延ばすための取り組み」に壁！

問 高齢者の健康づくり、活躍の場としての老人クラブ連合会、地区社協の役割、課題は。

答 中洲・湖南のいきがい広場は利用者が増。一方老人クラブ連合会は大幅に減少している。小地域の支えあいを進める上で、元気なお年寄りの参画は必要。地区社協・サロン活動等との連携も視野に、市社協と連携を密に対応していきたい。

●子どもの貧困について



廻本 多都子

問 近年子どもの貧困が社会問題となり、平成25年には子どもの貧困対策推進法が制定された。県ではひとり親世帯の調査をし、様々な取り組みをしているが、市は。



信州子ども食堂 in すわ「ちゃんちゃんこ」

答 県と連携し、安心できる居場所づくりや

学習支援の場を設け、NPO法人や民間の力を借りて月1回子ども食堂を2か所で開催している。フードドライブでの食材を提供している。相談窓口は家庭・教育相談室とまいさぼ諏訪市で行い、連携している。

問 就学支援の状況は。

答 ここ数年横ばい。2017年7月、小学校10.1%、中学校14.3%。来年度から入学準備金の支給が始まる。

●給食費の無償化について

問 全国、県内で、学校給食費の無償化をはじめめている自治体もあるが、本市はどうか。

答 無償化は考えていない。無償化の議論があるのは知っているが、食育の推進は学校と家庭で連携していくものであり、単なるお金の支援ではなく心の栄養を尊重していきたい。

●「ゆめスクールプラン」の住民説明会での様子と今後

問 小中一貫校を基本とした「ゆめスクールプラン」の住民説明会の状況（参加者）と今後その意見をどう生かしていくか。

答 多くの意見をいただいた。市内4か所でのべ152人の参加。4回の懇談会を経て、委員会ではもう少し意見を聞きたいとして9月末を目途としていたが結論は若干遅れ気味。素案がまとまったら地域懇談会を開きたい。

要望 数年前、保育園の統廃合の住民説明会のときに、ある住民の方が「地域から薬局や昔からの店がなくなり、どんどんさびれていく。この上保育園がなくなったら」と保育園の存続を訴えていた。地域になくはならない学校をという住民の声をよく聞いてほしい。



●諏訪湖周クリーンセンター最終処分場の行方

問 最終処分場建設について、建設反対期成同盟会を組織した辰野町竜東4地区との懇談内容と今後の対応は。

答 計画を撤回し、事前調査や測量に着手させないことが同盟会の

設立趣旨。反対される皆さんから色々なご意見を賜り、重く受け止めている。一方で、ゴミ処理について、諏訪、上伊那、下伊那等流域を超えての責任使命がある。ご理解いただくために、今後も真摯に取り組み、次の段階に進める努力を重ねる。

問 最終処分場の必要性についての見解は。

答 民間施設の閉鎖や大規模災害時の交通遮断等、リスク分散や費用対効果等の観点から、自前の施設は必要。

●県宛て要望書提出の一元化

問 建設関係、交通安全等の県要望書の提出を、市の建設課に一元化した理由は。要望に対する県からの回答は。

答 県道や国道の状況把握は市でも必要。提出時期もまちまちで、要望事業が大小混在し、県では対応に苦慮していた。今後は市で整理して一括提出する。県からの回答は、年度末に文書で各地区に報告する。

●課題のインフラ整備は

問 沖田線道路の市道化への進捗

答 状況は。近々土地売買の契約が締結する。30年度工事に取り掛かり、年度末供用開始の予定で順調に進んでいる。

問 上川の河床や高水敷、中門川の堤防は長年にわたり全く手が入っていない箇所が存在している。水災害の影響を危惧する。県への強力な働きかけは。

答 河川内に雑木が繁茂している箇所もある。特に中門川の上流部が目立って乱立している。治水面において、適正な管理がされるよう県に働きかける。



整備が望まれる一級河川中門川



●立地適正化計画後の施策は

問 居住誘導区域内への移設費用の補助、居住区域外の住民への受

益者負担の導入など、立地適正化計画後の計画実現のための施策についての考えは。

答 具体的な誘導施策については計画に定めるものではなく、計画策定後に個々の施策については協議する。具体的施策については未定だが、計画の目標年次は20年後を予定。ある程度の年月をかけて緩やかに実現していくものである。

問 諏訪のファンをつくるという観点から、「セカンド市民制度」の導入の考えは。

答 二地域居住に近い制度だと認識している。提案いただいた制度も参考とし、今後取り組んでいきたい。諏訪市に愛着と誇りを持った市民が増えていく取り組みを大事にしたい。



二地域居住のイメージ
(国土交通省のホームページより)

※大都会の住民等が出身地に限らず、好きなまちを「第2の居住地」として選び、「セカンド市民」として住民登録する制度

問 消防団・PTA・ボランティア活動などの地域活動に対する休暇制度、企業への表彰制度創設の考えは。

答 市役所内では事務に支障がない限り活動を推進しており、その様な制度がある。企業においては更なる拡大を図るため周知徹底していく。休暇制度については法定外休暇となるので、労使話し合いで設定されるよう制度の普及を図っていく。

● #7119 事業創設の考えは

問 救急車の適正利用についての諏訪広域での現状は。

答 ホームページ・救急車のバツクドアなどに適正利用の文章を掲示している。諏訪広域では12台の救急車があり、救急対応できない状況は発生していない。今後も適正利用を呼びかけていきたい。

問 救急安心センター#7119事業の創設についての考えは。

答 #7119事業は全国に普及しつつある。同じようにQ助というアプリで救急車要請を判断するものもある。諏訪広域としては、これらの導入を検討すべき課題と考えている。

《全会一致とならなかった提出案件審議結果と各議員の賛否一覧》

賛成…○ 反対…× 趣旨採択…△ ※なお、議長（金子喜彦）は、採決には加わりません。

区分	番号	件名	井上登	近藤一美	増澤義治	牛山智明	宮下和昭	吉澤美樹郎	小松孝一郎	伊藤浩平	森山博美	廻本多都子	山田一治	小林佐敏	水野政利	奥野清	議決結果
認定議案	1	平成28年度諏訪市一般会計歳入歳出決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	認定
認定議案	2	平成28年度諏訪市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	認定
議員議案	6	「全国森林環境税」の創設に関する意見書	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決

《全会一致で可決・採択された案件》（趣旨採択を含む）

- 報 告 第 7 号 平成28年度決算に基づく財政健全化判断比率及び公営企業資金不足比率の報告について
- 第 8 号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償の額を定めるについて）
- 同 意 案 第 3 号 教育委員会委員の任命について
- 第 36 号 諏訪市公営企業運営審議会条例を定めるについて
- 第 37 号 諏訪市保育所条例の一部改正について
- 第 38 号 諏訪市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 第 39 号 諏訪市福祉医療費給付金条例の一部改正について
- 第 40 号 諏訪市霧ヶ峰リフト条例の一部改正について
- 第 41 号 平成28年度諏訪市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 第 42 号 平成28年度諏訪市温泉事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 第 43 号 平成28年度諏訪市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 第 44 号 平成29年度諏訪市一般会計補正予算(第2号)
- 第 45 号 平成29年度諏訪市水道事業会計補正予算(第1号)
- 認定議案 第 3 号 平成28年度諏訪市霧ヶ峰リフト事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 4 号 平成28年度諏訪市奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 5 号 平成28年度諏訪市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 6 号 平成28年度諏訪市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 第 7 号 平成28年度諏訪市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 陳 情 第 37 号 私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書
- 議員議案 第 7 号 道路整備事業に係る補助率等の高揚げ措置の継続を求める意見書
- 第 8 号 国に対する私立高校への公費助成に関する意見書
- 第 9 号 長野県に対する私立高校への公費助成に関する意見書



議会だより

モニター通信

議会だよりモニターの皆様にごいただいたご意見、ご質問にお答えします。

7月21日に第1回議会だよりモニター連絡会議が行われました。14名の方に委嘱状をお渡ししました。



さっそく、第69号についてモニターの方にアンケートをお願いしました。結果は以下のとおりです。

■ 良い ■ まあ良い ■ 普通 ■ あまり良くない ■ 良くない
※無回答あり

1. 本誌の内容はわかりやすいと思いますか。



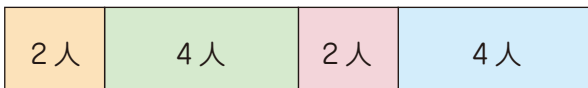
2. 表紙や見出しについてのイメージはいかがですか。



3. 紙面構成、レイアウトはいかがですか。



4. 写真や図の使い方はいかがですか。



補正予算など金額に係る内容には推移が分かるよう図表を用いては。



今後、図表を使って分かりやすくお伝えできるよう改善していきます。



議会の初歩を教えるページが欲しい。



用語解説コーナーにて、基本的な題材を選び、解説します。



記事内の難しい用語について、欄外に説明を掲載した方が良いのでは。



わかりにくい用語については※を用いて説明をつけるよう変更しました。



その他の意見

- タイムリーで話題性のある写真が目を引く。
- 市民に「議会だより」をもっと見てもらう方法を考えては。
- カラーでメリハリのある構成になっている。
- モニターになり、改めてじっくり読むと各所に工夫が感じられた。
- 質疑の色分けが読みやすい。
- 文章の内容と写真がさらにマッチするよう研究が必要。
- 全会一致とならなかった案件の詳細を掲載する努力が必要。
- 表紙の写真が「広報すわ」のような感じである。
- 議会だよりなので議員の「答」にスペースを割り、「問」を数行で掲載してはどうか。
- 表現方法をもっと分かりやすくしてほしい。



議会や行政に対する多くのご意見をいただき、ありがとうございました。

様々なご意見は全議員、事務局と共有し、今後の議会活動、議会だよりに生かしてまいります。また、行政に対するご意見は関係部局に伝えてまいります。



YouTube で観られます！

10月2日(月)より議会録画中継をYouTube(映像配信サービス)で公開しています。平成29年3月定例会以降の代表質問及び一般質問を、それぞれ質問者別にご覧いただけます。

視聴方法は、市ホームページより議会情報のページを開き、「議会録画はこちら」のボタンをクリックしてください。視聴したい定例会を選ぶと、各定例会の質問一覧表が出てきますので、ご覧になりたい質問者を選んでください。リンク先のYouTube上で視聴いただけます。

視聴にあたっての注意(免責)事項については、ホームページをご覧ください。



議会を傍聴しよう！

諏訪市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に諏訪市役所議会棟2階の議会事務局窓口までお越しください。また、その際にアンケートをお配りしていますので、ご協力をお願いします。

12月定例会は、11月27日(月)招集予定です。
詳しい日程は、招集日のおよそ2日前に決定する予定です。



議会に参加しよう！

議会に対して陳情書等を提出することができます。陳情書等の提出は、11月17日(金)正午までです。提出方法など、詳しくはお問い合わせください。



議会をLCVで見よう！

諏訪市議会では、本会議をLCVの「かりんちゃんねる」で生中継しています。

また、本会議の会議録は、図書館、市役所ロビー、ホームページ、議会事務局で閲覧することができます。

12月定例会のテレビ中継日程予定

月 日	会 議
11月27日(月)	提案説明
12月4日(月)	代表・一般質問
12月5日(火)	一般質問
12月6日(水)	一般質問
12月13日(水)	委員長報告、採決

※中継日程は、変更になる場合があります。

議会だより編集委員

委員	副委員長	委員長
伊藤 平	牛山 智	井上 登
近藤 美	小松 孝	水野 利

9月議会最終日の午前7時ごろ「Jアラート」が作動。警報音が鳴り響きました。弾道ミサイルが北海道上空を通過。緊迫する北朝鮮の核・ミサイル開発。国連安全保障理事会は対話による平和的解決を呼びかけています。圧力だけでなく、交渉に乗り出すことが大事です。

さて、9月議会は、決算議会でもありました。平成28年度の一般会計、特別会計、公営企業会計が適正かつ効率的になされているか慎重に審査し、議論を行いました。

それぞれの立場から出された意見が市民のために、次年度の改善につながるものと期待します。

井上 登

編集後記

